

支え手として 日本一を

年 組 番 名前

今季のプロ野球パ・リーグを制した球団で、飯田市出身の佐々木健太郎さんが、選手を支える仕事をしています。阿智高校(下伊那郡阿智村)の野球部員だった佐々木さんがどんな仕事をしているのか、読んでみましょう。

- ①佐々木さんが所属する球団の名前は、何ですか。また、佐々木さんは何という肩書きですか。

球団名—

肩書き—

- ②佐々木さんは自身の仕事に何が求められると考えて、選手たちの状態に目を凝らしていますか。

- ③社会人野球のチームには進めず、落ちこんだ佐々木さんでしたが、心の中に何がくすぶり続けていましたか。

- ④2013年にトレーナーとして入団した佐々木さんは、どうやって技術を磨きましたか。また、選手の信頼を集め、時にはどんなこともしますか。

- ⑤佐々木さんはトレーナーになった頃から、どんな思いが年々強くなっていますか。その思いから、何と話していますか。

飯田出身 オリックス1軍トレーナーの佐々木さん 支え手として 日本一を

右肘をけが 選手の道は諦めたけれど

燃やし続けた野球愛 いざCSへ

プロ野球のクライマックスシリーズ(CS)のファイナルステージが10日始まる。パ・リーグで今季優勝したオリックスを1軍チーフトレーナーとして支えているのが、飯田市座光寺出身で阿智高校(下伊那郡阿智村)の野球部員だった佐々木健太郎さん(42)だ。主力の仕上げり具合を注意深く見詰め、選手としては諦めた野球で日本一の夢をつかもうとしている。

(岩安 良祐)

【関連記事19面に】

「まだ痛みはあるの?」。助言。診断の結果は、右手首の骨折だった。

へ。卒業前、社会人野球のチームに決まりかけていたが、

7日、大阪市西区の京セラドーム大阪。グラウンドで快音を響かせる主軸の吉田正尚選手に声を掛けた。吉田選手はけがから復帰し、今月、1軍に合流したばかりだ。

「どんな状態でも出場させることと、けがをさせない」という相反する目的を両立させるため、ぎりぎりの判断が求められる」と、佐々木さん。1軍29人の状態に目を凝らす。

技術を見せる「セレクション」の遠投で右肘を脱臼。社会人野球のチームには進めず、リフォーム会社の営業職に就いた。「もう野球は続けられない」と落ちこんだ。

アクシデントは10月2日のソフトバンク戦で起きた。打席に立った吉田選手の右手首に打球が当たった。ベンチ裏に下がった吉田選手は、駆け寄った佐々木さんに「痛い動きと痛くない動きがある」と

◆ 野球好きな父の影響で小学生から地元の少年野球チームに所属。進学した阿智高校野球部では外野手で2番打者だった。練習に打ち込み、3年の春季大会の南信予選で優勝。夏の全国選手権長野大会ではベスト8に輝いた。「球場に村民が駆け付けて声援を送ってくれた光景は今でも忘れられない」

◆ それでも「野球に携わり続けたい」という熱意がくすぶり続けた。思い浮かんだのが学生時代によく治療を受けていたトレーナーの姿だった。

木さんは「万が一のために」と途中交代し、受診するよう

◆ 専門学校に入り直し、あん摩マッサージなどの資格を取得。2013年、オリックスにトレーナーとして入団した。選手の治療やリハビリ、練習中と試合中のけがの対応で技術を磨いた。選手の信頼を集め、時には不安や悩みも聞く。

◆ 昨年、新型コロナウイルスの影響で夏の全国選手権大会が中止され、高校球児たちの夢が絶たれた。選手の無念さを思った佐々木さんは、母校にオリックスの練習球10球を寄付した。



佐々木健太郎さん

高校時代のチームメイトとは今でも連絡を取り合う。「『息子が阿智高で野球を始めたよ』なんて聞くとうれしくてね」。トレーナーになった頃から、自身の礎を作り育ててくれた地元への感謝の思いは年々強くなっている。「夢をかなえて恩返ししたい」



打撃練習に臨む吉田選手に声を掛ける佐々木さん(奥)7日、京セラドーム大阪

たい」

支え手として 日本一を

解答例

年 組 番 名前

今季のプロ野球パ・リーグを制した球団で、飯田市出身の佐々木健太郎さんが、選手を支える仕事をしています。阿智高校(下伊那郡阿智村)の野球部員だった佐々木さんがどんな仕事をしているのか、読んでみましょう。

①佐々木さんが所属する球団の名前は、何ですか。また、佐々木さんは何という肩書きですか。

球団名— オリックス

肩書き— 1軍チーフトレーナー

②佐々木さんは自身の仕事に何が求められると考えて、選手たちの状態に目を凝らしていますか。

【解答】 どんな状態でも出場させることと、けがをさせないことという相反する目的を両立させるためのぎりぎりの判断

③社会人野球のチームには進めず、落ちこんだ佐々木さんでしたが、心の中に何がくすぶり続けていましたか。

【解答】 「野球に携わり続けたい」という熱意

④2013年にトレーナーとして入団した佐々木さんは、どうやって技術を磨きましたか。また、選手の信頼を集め、時にはどんなこともしますか。

【解答】 選手の治療やリハビリ、練習中と試合中のけがの対応で

不安や悩みも聞く

⑤佐々木さんはトレーナーになった頃から、どんな思いが年々強くなっていますか。その思いから、何と話していますか。

【解答】 自身の礎を作り育ててくれた地元への感謝の思い

夢をかなえて恩返ししたい